平成２５年度　第３５回九州高等学校（U17）サッカー新人大会

大会名	平成２５年度 第３５回九州高等学校（U17)サッカー新人大会	第３日	準決勝	平成 26 年 2 月 17 日　(月) １０：００ ｷｯｸｵﾌ	競技時間	６０分	記録者	小屋　良樹
					観衆	３００人		

会場	大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場Ｂコート	天候	晴 曇 雨	風	強 弱 無	芝 土	状態	良好 不良 泥沼	審判	主審	副審	第４の審判員
										引地　弘幸	福田　人志 高木　哲也	塩月　勇輝

【チーム名】	kick off			【チーム名】	kick off
長崎総合科学大学附属	【長崎】	1	0	出水中央	【鹿児島】
先				先	
背番号				背番号	
○　×				○　×	

	0	前半	0
	1	後半	0
		延前	
		延後	
		ＰＫ戦	

交代時間	シュート（得点者は＊印）延後	延前	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置		背番号	選手名	学年	シュート（得点者は＊印）前半	後半	延前	延後	交代時間
分					1	松村　優太郎	1	GK	GK	1	益田　一輝	2					分
分			1		2	出道　元太	2	DF	DF	2	米丸　翔司	2					分
分					2	宮田　晃	3	DF	DF	3	平野　翼	2					分
分					2	佐野　大幹	5	MF	DF	4	宮内　健介	2					分
42 分					1	日野　友貴	7	FW	MF	⑥	松川　翔	2					分
分			1		2	森崎　雄也	8	MF	MF	8	岸本　響	1					分
分			1		1	中島　成斗	9	FW	MF	9	甲斐田　佑太	2					分
分			2		2	安藤　翼	⑩	FW	FW	10	益留　直之	1					分
分				1	2	洪　準基	13	MF	FW	11	谷口　大輝	2					分
分					1	磯部　希	17	DF	DF	14	城本　勇希	2					分
交代 35 分					2	木下　龍成	18	FW	MF	19	磯脇　一輝	1	1				分
交代選手	交代要員																交代選手
18 番 35 分					2	成瀬　美喜人	20	MF									分 番
7 番 42 分					1	比嘉　翔太	19	FW									分 番
19 番 51 分					2	高倉　拓紀	14	DF									分 番
番 分																	分 番
番 分																	分 番
	0	0	5	1	小計	6	合計	シュート数	合計		1	小計	1	0	0	0	

警告（C）・退場（S）など	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警告（C）・退場（S）など
	5			4	1	Ｇ　Ｋ	3	1			4	
	5			2	3	Ｃ　Ｋ	1	1			2	
	7			3	4	直接 ＦＫ	5	6			11	
	2			2	0	間接 ＦＫ	0	0			0	
（背番号）（氏名）（時間）（警告or退場）（理由）	0			0	0	Ｐ　Ｋ	0	0			0	（背番号）（氏名）（時間）（警告or退場）（理由）

時間	得点者 №	選手名	アシスト №	選手名	得点経過	時間	得点者 №	選手名	アシスト №	選手名	得点経過
60+1 分	3	宮田			左CK　こぼれ球　×　3S	分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					
分						分					

《略号例》　～: ドリブル　→: ゴロのパス　∩: 浮球のパス　H: ヘディング　ＨＳ:ヘディングシュート　×: 混戦　S:シュート
オウンゴール　こぼれ球　直接ＦＫ　間接ＦＫ　ＧＫ　右・左ＣＫ　スローイン　バー返り　ポスト返り

戦評者氏名　（　保明　栄治　）　勤務先又は所属　（　日本文理大付属高校　）

長崎総附３－５－２（ダブルボランチ、リベロ）、出水中央４－４－２（ボックス）の布陣。出水中央は中盤のテンポの良いパスワークから両サイドのスペースで起点をつくりチャンスをうかがうが、相手のツーセンターバックのマンマーク、リベロのカバーリングで阻止される。一方、長崎総附は徹底したリスクマネジメントから、高い位置にボールを運び、FW⑩安藤を起点に運動量のあるFW⑨中島、両サイドのMFからのクロスでチャンスメイクするが、シュートがゴールマウスをとらえない。互いにリズムがつかめないまま、後半１５分、長崎総附が選手交代から前線の厚みをつくり、流れをとりに動く。逆に出水中央もカウンターから空いたスペースをつくが、決定機をものにできず、PK戦突入と思われた終了間際、CKからの混戦を押し込んだ長崎総附が決勝進出を決めた。

主　審	会場長